

## 新農薬の紹介

### フルオキサストロビンの特長

アリスタ ライフサイエンス株式会社 製品開発部 萩原 彰子 (はぎわら あきこ)

#### はじめに

フルオキサストロビン (fluoxastrobin) は、ドイツのバイエル クロップサイエンス社によって 1994 年に創製された新規のストロビルリン系化合物である。フルオキサストロビンの特許は 1996 年にバイエル クロップサイエンス社によって申請され、2005 年にアリスタ ライフサイエンスが日本、米国およびカナダでの、2012 年にその他の国での種子処理を除く食用、非食用での開発および販売の権利を取得した。日本国内では、2006 年よりキャプタンとフルオキサストロビンとの混合剤 (試験名 ALF-0611 顆粒水和剤、商品名エビート顆粒水和剤) およびテトラコナゾールとフルオキサストロビンとの混合剤 (試験名 ALF-0614 フロアブル、商品名ビゴールドフロアブル) について、それぞれ果樹および芝の病害を対象とした防除効果試験を社団法人日本植物防疫協会 (現一般社団法人日本植物防疫協会) を通じて開始した。また、2012 年からはフルオキサストロビン単剤 (試験名 ALF-1211 フロアブル、商品名ディスアームフロアブル) についても試験を開始し、2016 年 11 月 15 日にビゴールドフロアブルおよびディスアームフロアブルについて農薬登録を取得した。

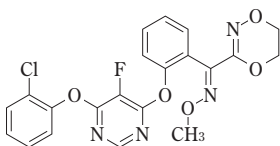
#### 【名称および性状】

一般名：フルオキサストロビン (fluoxastrobin)

CAS 登録番号：361377-29-9

化学名 (IUPAC)：(E)-[2-[6-(2-クロルフェノキシ)-5-フルオロピリミジン-4-イルオキシ]フェニル] (5,6-ジヒドロ-1,4,2-ジオキサジン-3-イル)メタン-*O*-メチルオキシム

構造式：



分子式：C<sub>21</sub>H<sub>16</sub>ClFN<sub>4</sub>O<sub>5</sub>

分子量：458.83

色調および形状：白色結晶性固体

水溶解度：2.559 mg/l (20℃ 非緩衝液)

オクタノール/水分配係数 (logPow)：2.86 (20℃)

#### 【フルオキサストロビンの作用機構】

フルオキサストロビンは他のストロビルリン系化合物と同様に、ミトコンドリア内の電子伝達系複合体 III を阻害する (FRAC コード：11)。

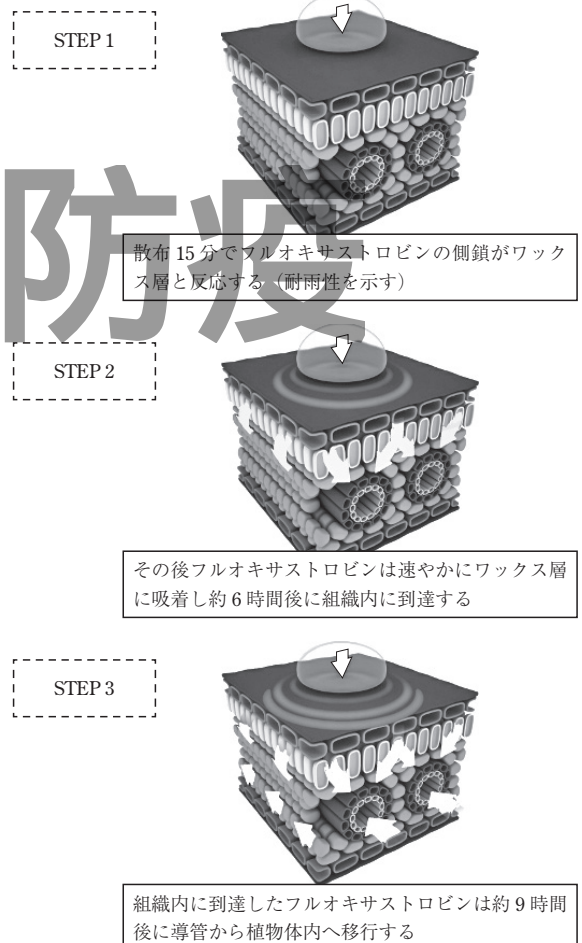


図-1 「ザイレムプロテクノロジー」

フルオキサストロビンの速い吸着性・浸透性および浸透移行性 (各所要時間は大麦を用いて測定)